

4 調査結果

【小学校 第5学年】

平均正答率 (%)

教科	目標値	香取市平均	目標値との差	全国平均
国語	68.2	73.8	+5.6	71.9
社会	64.8	68.6	+3.8	66.0
算数	66.3	64.3	-2.0	69.0
理科	68.3	71.0	+2.7	70.0

【全体的な傾向】

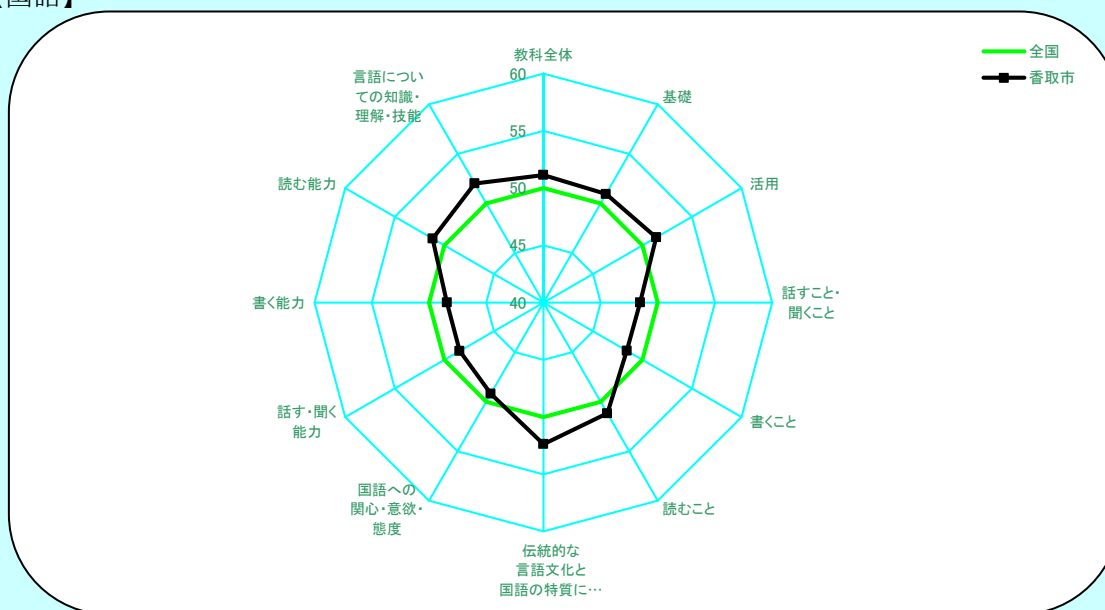
国語、社会及び理科は、市平均正答率が目標値と全国平均をともに上回ったが、算数は、市平均正答率が目標値と全国平均をともに下回った。

全体として、学習の実現状況はおおむね良好である。

【小学校の教科ごとの傾向】

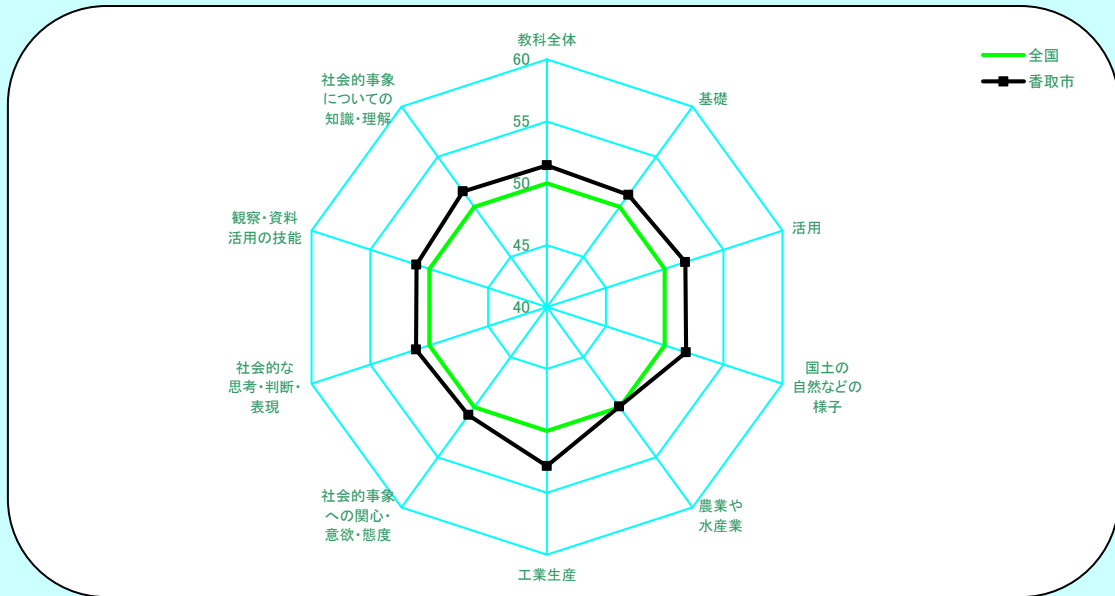
※グラフは全国平均を50として、香取市の平均正答率を相対的に表したものです。

【国語】



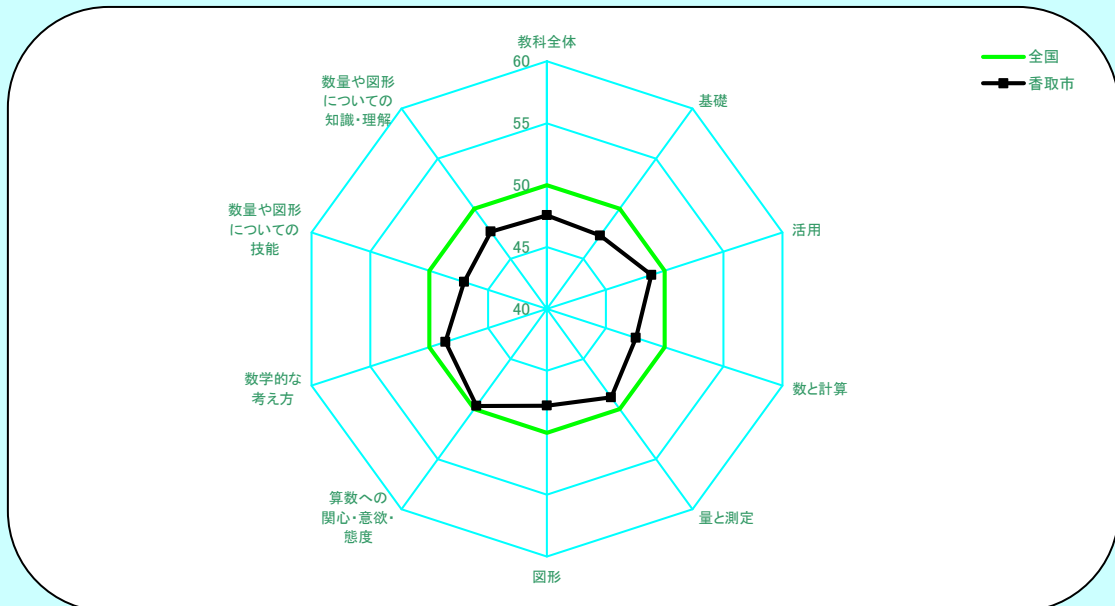
- 基礎・活用とも、全国平均よりやや高い。
- 領域別（観点別）では、読むこと（読む能力）、伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項（言語についての知識・理解・技能）が全国平均よりやや高い。
- 領域（観点別）では、国語への関心・意欲・態度、話すこと・聞くこと（話す・聞く能力）、書くこと（書く能力）が全国平均よりやや低い。

【社会】



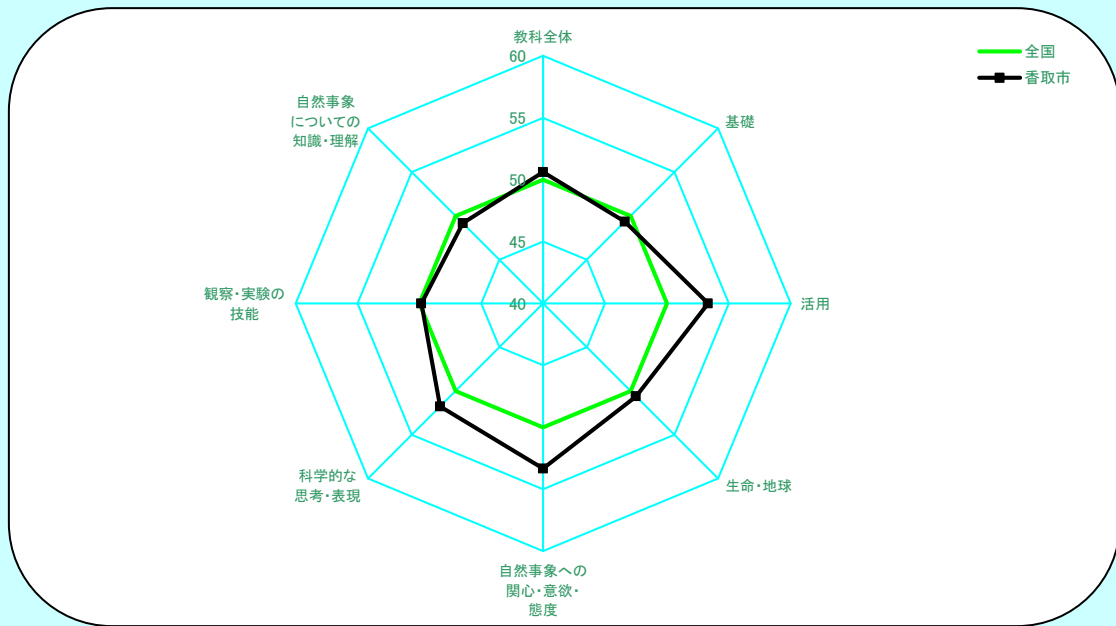
- 基礎・活用とも、全国平均よりやや高い。
- 領域別では、国土の自然などの様子、工業生産が全国平均よりやや高い。
- 観点別では、すべての観点（社会的事象への関心・意欲・態度、社会的な思考・判断・表現、観察・資料活用の技能、社会的事象についての知識・理解）が全国平均よりやや高い。

【算数】



- 基礎・活用は、全国平均よりやや低い。
- 領域別では、全ての領域（数と計算、量と測定、図形）が全国平均よりやや低い。
- 観点別では、数学的な考え方、数量や図形についての技能、数量や図形についての知識・理解は全国平均よりやや低い。

【理科】



- 活用は、全国平均よりやや高い。
- 領域別では、生命・地球は、全国平均よりやや高い。
- 観点別では、自然事象への関心・意欲・態度、科学的な思考・判断は全国平均よりやや高い。
- 観点別では、自然事象についての知識・理解は全国平均よりやや低い。